

き ら り

7

2020 JULY

「愛情込めて育てました。」
スイートコーンの
夏が来た！



「あぐりスペシャル」

伝統と技術が育てたブランド
産地を守り、みんなで支える

「飯南の桃」

今が旬！

「らいふスペシャル」

夏の健康は食生活から。おいしく、地産地消を

スタンプラリー
開催します！

JA香川県の「農産物直売所」

JA香川県は
自己改革に
取り組んでいます！



農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

JA香川県では
「新型コロナウイルス
感染症対策本部」を
設置し、感染防止に
取り組んでいます。

伝統と技術が育てたブランド
産地を守り、みんなで支える

「飯南の桃」

今が旬!

温暖少雨という瀬戸内の気候風土に育まれ、一年中おいしい果物に恵まれる香川県。
讃岐の夏の特産果物の一つに、甘くてみずみずしいモモがあります。
県内では、仲多度地区、三豊地区、中央地区などで栽培されています。
その中心的産地は、丸亀市飯山町。県内のモモ生産量の約7割がこの地で栽培されています。
今年も6月中旬から収穫が始まり、「飯南の桃」のブランド名で出荷されています。
この夏はご家庭で香川のモモ三昧、大切な人へも贈ってみてはいかがでしょうか。



県内で最も古い
果樹栽培品目のひとつ

香川県における出荷作物としてのモモ栽培は、明治11年、当時の坂本村(現丸亀市飯山町)の初代村長・宮井茂九郎氏を中心として飯野山周辺の松林を開墾、モモの苗木を植えたことから始まったとされています。

その歴史は、今年でなんと142年。全国でも相当に古い産地といえるでしょう。記念すべき150周年も視野に入ってきた今、歴史と伝統を大切にしながらも、次なる200周年へ向けて産地とブランドを維持・発展させることが急務となっています。



JA香川県仲多度地区営農センター
坂本撰果場

世戸 春樹 所長
に聞きました。



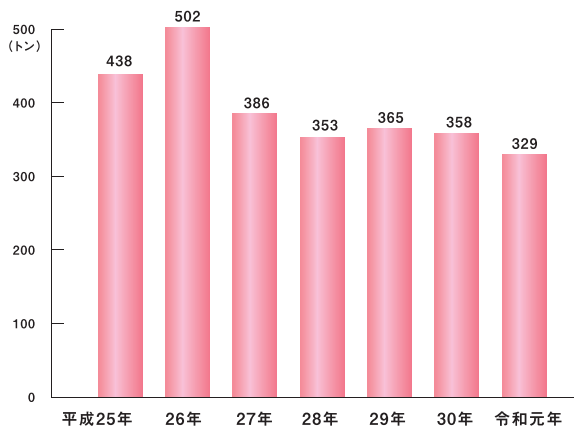
飯南地域では今年も6月中旬から待望のシーズンがスタート。
写真は、長友光憲さん(51歳)の園地での極早生品種「はなよめ」の収穫作業です

面積と生産量の 維持が課題に

一般に、果樹栽培は苗木を植えてから初出荷までに数年(モモの場合は3年)を要するため、新規参入が難しいという側面があります。そのため、生産者の高齢化や後継者不足による栽培面積・生産量の減少は、ほかの品目以上に深刻です。

これに拍車をかけたのが、平成27年の台風。多くのモモの木が倒れるなどの被害が出て、出荷量もかなり落ち込んでしまい、そのままモモ栽培を諦める人も…。当ＪＡでは「もう一度がんばりましょう!」と、部会と

飯南地区桃生産販売部会における生産販売量



令和元年の飯南地区でのモモ生産量は329トン。
県内全体の生産量472トンのうち69.7%を占めています。

優良品種を 組み合わせる 栽培モデル

一丸となって復旧に取り組み、推奨品種の苗木を植えました。この時に植えた品種がやつと成木になりつつあり、今年からはやや盛り返しが期待できると思っています。

さらに、新たな試みとして、当ＪＡが直接園地の維持・拡大や担い手の育成を図る「直営農場」の取り組みも始まっています(詳細は6ページ)。

今後、産地とブランドを守り、価格を安定させて経営モデルを確立し、若い人が参入したくなる環境を整えることに力を尽くしていきます。

露地栽培のモモは、旬のはっきりした果樹です。通常、モモ農家はできるだけ作業を分散させて出荷期間を延ばすため、数種類の異なる品種を植えています。近年は気温の上昇などから6月中旬と以前より前倒しになってきているものの、今年は極早生品種で平年並みの6月12日に初出荷を迎えました。6月下旬から8月上旬、^{おくれ}晩生・^{なかて}中生・^{わかせ}早生の各品種が次々に出回ることで、食べ比べも楽しめます。

当地区での主力(推奨)品種は、「日川白鳳」「あかつき」「なつおとめ」の3品種。これに加えて、極早生の「はなよめ」「中生の「なつ」といった品種も増えてきています。

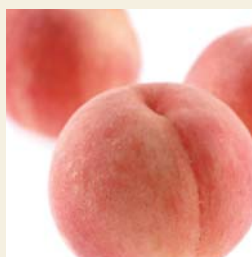
品種特性・出回り期間



「日川白鳳」



「あかつき」



「なつおとめ」

ひかわはくほう

日川白鳳 ●6月下旬～7月上旬 ●早生 ●糖度11～12
梅雨頃から出荷される実の締まったさわやかな甘みのモモ

あかつき ●7月中旬～下旬 ●中生 ●糖度12～14
モモの中ではかなり甘い。糖度は高く、果肉は緻密。口当りはなめらかですが歯ごたえも楽しめるモモ。ご贈答用などに最適。

なつおとめ ●7月下旬～8月上旬 ●晩生 ●糖度12～14
果実は大きく果肉はやや密で、繊維が多い。酸味が少ないのでより甘く感じるモモ。



飯南地区桃生産部会
部会長

建石 照夫さん(76歳)

当

部会は、現在144人の生産者が所属し、栽培面積は約70ヘクタールあります。

主な活動は、木のせん定や防除など管理作業に関する年3〜4回の現地講習会、収穫の始まる前に選別の状況、経費などの打合わせを行う出荷周知会。さらに、年1、2回は市場関係者との販売会議も行っていきます。

モモは、管理作業に手間がかかる作物です。3月に摘蕾を、その後、摘果・袋かけをします。袋は、外側が遮光になっている二重袋で、手間はかかりますが、収穫の約10日前に外袋を外すと、白い実が品よく美しく色づきます。

収穫後はお礼肥をし、9月には高く伸びた枝などをせん定。日当たりなどをよくし次の年に実がなる枝を充実させます。11月には中耕します。根の土が閉まると根が伸びなくなるので、耕して柔らかくするためです。そして春、花が終わった後から雑草防止や乾燥防止のため敷き藁をします。その藁が秋には肥料になるのです。また、施肥や水管理にも気をつける必要があります。

現状、やはり部会員の高齢化は深刻と言わざるを得ません。定年退職

後に実家の園地を継いでくれる人はいませんが、若い人の新規参入はとも少ないです。今後、収入面も含め若い人にとって魅力のある品目として産地を維持できるよう、少しでも販売単価を上げるのが今の部会目標です。

—— 年中手間がかかり、収穫期は暑くて大変ですが「『飯南の桃』が食べたい」「おいしかったよ」と言ってくれるお客さんの存在が、がんばって作るという励みになっています。消費者の皆さんが食べてくれることで産地が育ちます。ぜひ、シーズン中に、たくさん食べてください！



「モモは気候、土、肥料、水などの影響を受けやすい非常にデリケートな果物。おいしく作るにはモモが“してほしい”ことに応えるのが一番。モモと話ができたならなあ、といつも思っています(笑)」と話す建石さん。周囲の方々曰く「実際、よくモモと話していますよ!」とのこと。一本一本の木をよく見て、毎年新しいチャレンジも怠らない姿勢が、部会全体をけん引しています。

“未来のために今、苗木を植える” 直営農場、始めました。

仲多度桃農場

当JAでは、「飯南の桃」産地とブランドの存続・基盤強化と若い担い手の育成を目的として、直営農場の経営に乗り出しています。

2019年4月、高齢により離農した生産者の農地を合わせて2.3ヘクタール借り受け、「あかつき」「なつおとめ」「日川白鳳」の3品種の苗木を計316本植えました。収穫までには最短でも3年かかるため、それまではモデル園地としてJAの職員が建石部会長の指導の下で管理作業を担当します。同時に、参入を希望する若い担い手への技術指導なども行い、出荷が可能になれば、育成した担い手に園地を譲渡する計画です。

今回が初めての試みですが※、計画通りにいけば、第2弾・第3弾と面積拡大し、さらにはほかの果樹にも広がっていただけるのではと考えています。



植えたモモの苗木

苗木を植えた仲多度桃農場

※園芸品目(ブロッコリーなど)の直営農場としては2016年から三豊地区管内で「三豊農場」が運営を始めています。

「飯南の桃」ブランドを支える 充実した出荷体制と販売強化戦略

最新鋭の選果機を 導入しています

「飯南の桃」は収穫後、管内の坂本撰果場へ運ばれます。ここで、高精度光センサーを搭載した選果機で果実1個1個の色や重量、傷の有無などのほか、糖度をはじめとする内部品質も厳しくチェックし選別します。贈答需要も多い果物だけに、品質と甘さの保証ができるのは大きなメリット。県の「さめき讚フルーツ」の対象品目にもなっています（秀品ランク・平均糖度12.0度以上）。



県内での消費が多い “地産地消フルーツ”です

「飯南の桃」の販路は、県内が8割と圧倒的に多く、2割ほどは九州各地の市場に販売されています。モモは傷みやすい果物であるため、できるだけ地元で販売しようと市場出荷のほか、農産物直売所と「讚さん広場」での販売に力を入れています。



販売力の強化と工夫



ブランド力アップの取り組みとして、「飯南の桃」のロゴデザインを商標登録しました

- 丸亀市の「ふるさと納税」の返礼品になりました。
- モモは贈答需要も多いので、枝で実が傷ついただけでも規格外になってしまいます。廃棄せず加工品に活用する取り組みにも挑戦しています。中でも定番のシャーベットとアイスクリームは、毎年シーズンに開店する直売所でも人気です。



JA香川県さめき旬彩館

検索



モモのシャーベットとアイスクリーム

●以前は4^{kg}箱での販売が主流でしたが、近年は少人数の家庭が増えていることに伴い、少量販売にも力を入れています。ご家庭向けに5個〜7個詰めの商品が人気となっています。

●JA全農が運営するインターネット通販サイト「JAタウン」内の「JA香川県 さめき旬彩館」でもお買い求めいただけるようになりました。こちらもぜひご利用ください。

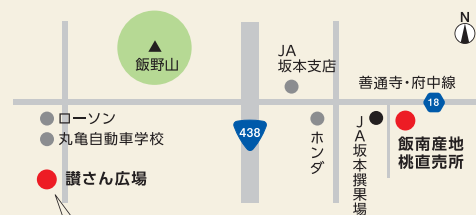
※本年は、新型コロナウイルス感染防止のため、例年開催している「桃喰うまつり」などのイベントは中止となります。ご了承ください。

JA香川県 飯南産地桃直売所

毎年、多くの皆さまにご利用いただいている夏季限定の直売所です。坂本撰果場に隣接し、期間中は無休で営業しています。贈答用（店内から発送できます）からおトクな家庭用、モモのシャーベット・アイスクリームもどうぞ!



丸亀市飯山町東坂元2019-1
TEL0877-98-5300
営業時間:9:00~16:00
営業期間:6月中旬~8月上旬



期間中は「讚さん広場」にもモモが豊富に並びます!

※新型コロナウイルス感染防止のため、混雑時には人数制限などをお願いする場合があります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

【きりり6月号のあぐりスペシャルレシピ(P5)の誤掲載について(お詫び)】
「とうもろこしとアスパラガスの炊き込みご飯」レシピで使用しない材料を掲載しておりました。正しくは 材料[A]…しょうゆ、酒、コンソメ、塩、バターです。訂正してお詫び申し上げます。

夏の健康は食生活から。
おいしく“地産地消”を

スタンプラリー
開催します！

らいい special

JA香川県の「農産物直売所」

現在、当JAの農産物直売所は、県下全域で26店舗を数えます。
それぞれが、地域の生産者自慢の新鮮な農産物や加工品などを揃え、
組合員・地域の皆さまのために魅力ある店舗づくりを目指しています。
毎夏恒例の「スタンプラリー」も始まります。ぜひご利用ください！

JA香川県は、第6次中期経営計画の農業振興プランの中で「ファーマーズマーケットの拡充、生協・漁協等との連携により県内消費者への安全・安心な農畜産物の提供を行い、協同組合の力で地域の食と農を支えます」としています。



野菜

梅雨が明ければ本格的な夏が訪れ、さまざまな夏野菜が出回る時期となります。サラダはもちろん、冷たいうどんやそうめんにも野菜をたっぷり加えてはいかがでしょうか。

果物

香川特産の夏の果物といえば、本号「あぐりスペシャル」でも紹介しているモモや、多品種が出回るハウス栽培のブドウが有名です。そのほかにも地域によっていろいろな果物が収穫期を迎えています。

花

直売所の楽しみは“食”だけにあらず。新鮮な切り花もファンの多い商品です。特にお盆の時期には、どの店舗にも花もちのよい仏花が豊富に出回りにぎわいます。

お米

暑さが落ち着く頃には、いよいよ「新米」のシーズンが近づいてきます。精米機が設置された店舗では、その場で精米でき、新鮮な「讃岐米」をお買い求めいただけます。



加工品

地域のJA女性部の加工グループによる手作りの加工品が買えるのもJAの直売所ならではの、地域の特色のある加工品もあります。また、当JAの「オリジナル商品」も好評販売中です。



入会・年会費無料！！

JA香川県ポイントカード

- 当JAの農産物直売所共通のポイントが貯められるカードです。（現在19店舗に導入済み/2020年7月現在）
- 入会金・年会費は無料。申込書への簡単な記入のみでカードを即時発行します。
- 購入金額200円（税抜）につき1ポイント貯まります。
- 1ポイントから取扱店舗での代金のお支払いにご利用いただけます。（1ポイント=1円）
- 毎月3、13、23日は「ポイント3倍デー」！



お申し込みは、取扱店舗までお気軽にどうぞ！
詳しくはJA香川県ホームページをご覧ください。

第3回

県内26直売所のスタンプを集めて当てよう!

JA香川県直売所スタンプラリー

【実施期間】
7月3日(金)～8月31日(月)

どどんと、
380名様に抽選で
プレゼント!

“全国一狭い”香川県ですが、東讃・中讃・西讃のそれぞれに平野部あり、山間部あり、島しょ部ありと、バラエティ豊かな食の宝庫が点在しています。そこで、直売所を巡って、それぞれの特産農畜産物や加工品などを楽しんでいただきたと、今年もスタンプラリーを行います。今回で3回目となります。

過去2回とも、多くのご参加・ご応募をいただき、ありがとうございます。今年も、さらに多くのご来店・ご応募をお待ちしています。



参加方法は
とっても
カンタン!

賞品はコチラ!

まずは、各直売所で配布している「リーフレット(スタンプシート)」を1枚入手してください。

各直売所でお買い物の際、設置してあるスタンプをスタンプシートにポン!と押すのを忘れなく。

スタンプを3個以上集めると「グリーン賞」、5個以上で「イエロー賞」、10個で「レッド賞」への応募資格が得られます。抽選で3賞合わせて380名様に、おいしい香川県産品が当たります。

※同一直売所で複数のスタンプを押すと「1か所」となりますのでご注意ください。
※応募締め切りは、令和2年9月5日(土)当日消印有効。



レッド賞

スタンプ
10個で応募
抽選で
50名様



オリーブの搾り果実を与えて育った
讃岐のオリジナルブランド黒毛和牛

オリーブ牛
ロースすき焼き用(500g)

※賞品は諸般の事情により予告なく変更となる場合があります。



イエロー賞

スタンプ
5個以上で応募
抽選で
80名様



香川県オリジナル品種で糖度が高く
紅の濃い皮が特徴の早生みかん

金時紅[小原紅早生みかん]
(2.5kg)



グリーン賞

スタンプ
3個以上で応募
抽選で
250名様



香川県産農畜産物のおいしさが詰まった絶品カレー
JA香川県オリジナルカレー&
おいでまい無菌パック
(1食×2種・200g×3パック)

応募方法・応募先は、各直売所で配布しているリーフレット(スタンプシート)をご覧ください。 お問い合わせ先:JA香川県経済部店舗総合課 TEL087-818-4163

JA香川県農産物直売所情報は 公式ホームページをチェック!

当JA公式ホームページ内の「JA香川県農産物直売所一覧」では、各直売所の基本情報(所在地・営業時間・店休日など)はもちろん、毎月更新する「旬のおすすめ農産物」で、その月の店舗に並ぶ主な農産物を知ることができます。直売所巡りの前に、ぜひご覧ください。



トップページ下方にある緑色のバナー「JA香川県農産物直売所 旬の情報」から、全26店舗のページへアクセスできます。



新型コロナウイルス感染症の予防対策をして営業しています。ご来店の際はご理解・ご協力をお願いいたします!

レジ袋有料化の
お知らせ

経済産業省「容器包装リサイクル法」の省令改正に伴い、JAの直売所においても、CO2の削減ならびに環境保全のため、令和2年7月1日(水)から、レジ袋を有料とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。レジ袋をご希望の方には、(小)…3円、(大)…5円(1枚あたり、税込)で販売いたします。

レジ袋有料化 7月1日スタート

検索

今月は

ブロッコリー

露地栽培（早生種）



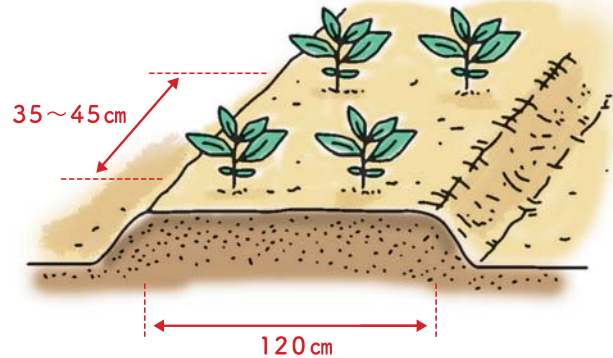
時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
種まき							●	●				
仮植え							■	■				
植え付け							○	○				
収穫											■	■

1 苗作り

プラグトレイの下に育苗箱を置く。トレイに育苗培土を入れた後、軽く水をかけて10分くらい待って浸透させる。トレイの土を指で軽く押して、種がトレイからこぼれないように種をまき、2cm程度覆土する。育苗箱の上を寒冷紗で覆い、用土を乾かさないようにする。芽が数か所出てきたら寒冷紗を外す。夏のかん水は朝1回、昼1回、夕方1回を目途に用土が乾く頃にする。本葉2枚のころに3号ポットに移植（仮植え）し、15日間程度育苗する。

2 ほ場準備・植え付け

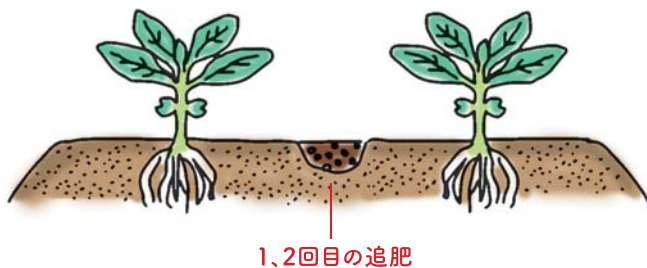
荒起こしする前に1㎡当たり苦土石灰100g、堆肥2～3kgを施す。植え付け前に元肥1㎡当たり化成肥料150gを施す。本葉5～6枚のころ、根鉢を崩さないように浅植える。植え付け後は水をたっぷりとかける。



3 追肥・土寄せ

植え付け1週間後に1回目、その20日後に2回目の追肥と土寄せをする。追肥は化成肥料1㎡当たり70～80gを施肥する。側花蕾も収穫する時は、頂花蕾収穫後にさらに追肥をする。

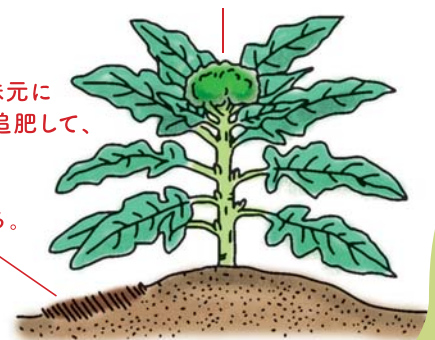
●2回目の追肥後、^{うね}畝の肩の土をポイント！株元へ寄せておく。



4 収穫

花蕾が直径10～12cm、花弁が見えるようになるまでに収穫する。

頂花蕾を収穫したら株元に化成肥料を追肥して、側花蕾の育ちを促し、順次収穫する。



ホームページ <http://www.kw-ja.or.jp/>

JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。



JA香川県
Facebook



JA香川県
Instagram

